

アップデートによる変更点

「本体アプリケーションのアップデート」作業により、「取扱説明書」の記載内容と一部異なる箇所が出てきますので、下記をご参照ください。

パソコンを使って microSD メモリカードをフォーマットするとき (1-46 ページ 2 つ目のメモ)

変更後	パソコンを使い、 <u>2GB 以下の microSD カードは FAT でフォーマット、2GB より大きく 8GB 以下の microSDHC カードは FAT32 でフォーマットしてください。</u>
変更前	パソコンを使い、 <u>FAT でフォーマットしてください (FAT32、NTFS ではフォーマットしないでください)。</u>

W-ZERO3 メール の全件削除 (4-26 ページ)

変更後	<ul style="list-style-type: none">全件削除を行うとき、表示される確認画面のボタンは、全削除、保護以外、キャンセルになります。 全削除 : 保護されたメールも含めすべて削除します。 保護以外 : 保護されたメール以外すべてを削除します。 キャンセル : 削除せずに元の画面に戻ります。選択削除を行うとき、表示される確認画面のボタンは、削除、保護以外、キャンセルになります。 削除 : 選択されたメールを削除します。* 保護以外 : 選択されたメール (保護メールは除く) を削除します。 キャンセル : 削除せずに元の画面に戻ります。 ※ 選択されたメールの中に保護メールがある場合も削除されます。
変更前	<ul style="list-style-type: none">全件削除を行うとき、表示される確認画面のボタンは、はい、いいえです。 はい : 保護されたメールも含めすべて削除します。 いいえ : 保護されたメール以外すべて削除します。選択削除を行うとき、表示される確認画面のボタンは、はい、いいえです。 はい : 選択されたメールを削除します。* いいえ : 選択されたメール (保護メールは除く) を削除します。 ※ 選択されたメールの中に保護メールがある場合も削除されます。

「保存できるライトメールの件数」 (☎ 4-40 ページ)

変更後	最大件数を越えて送信した場合、 <u>保護ライトメールを除き、一番古い送信済みメールから削除され、送信済みメールがなくなると、次に、一番古い未送信ライトメール／下書きライトメールから自動的に削除されます。</u>
変更前	最大件数を越えて送信した場合、 <u>未送信メールと保護ライトメールを除き、一番古いメールから自動的に削除されます。</u> <u>ただし、未送信メールが50件、保護メールが50件などでは、新規メールの作成はできません。</u>

設定画面 (**その他設定** タブ) (☎ 4-57 ページ)

変更後	設定画面 (その他設定 タブ) 内に「 <u>返信時に本文を引用する</u> 」チェックボックスがあります。 <u>このチェックを外すと、返信時に本文を引用しないようにできます。</u>
変更前	設定画面 (その他設定 タブ) 内に「 <u>返信時に本文を引用する</u> 」チェックボックスがありません。

ライトメールのメニュー (☎ 4-60 ページ)

変更後	特殊文字入力 - アニメーション絵文字
変更前	特殊文字入力 - アニメ絵文字

マナーモードで、ヘッドホンやイヤホンから音を聞くときは (☎ 6-8 ページのメモ、7-22 ページのメモ)

変更後	マナーモード (「標準」や「サイレント」) にしているとシステム音は OFF になりますが、 <u>イヤホンマイク端子に接続したヘッドホンやイヤホンから音が聞こえます。</u> (マナーモードの設定を「オリジナル」にして、システム音を「ON」に変更する必要はありません。)
変更前	マナーモードを「標準」や「サイレント」にしていると、 <u>イヤホンマイク端子に接続したヘッドホンやイヤホンからは音が聞こえません。</u>

バーコードリーダーの使いかた (☎ 7-13 ページ)

変更後	<p>バーコードを読み取るには、読み取りエリア (ファインダー) の中央にバーコードを表示し、ピントを合わせます。ピントが合うと、自動的にバーコードが読み取られます。</p> <p>※『取扱説明書』7-13 ページに記載している手順 4 の操作をしないで、読み取りが行われます。</p>
変更前	<p>バーコードを読み取るには、読み取りエリア (ファインダー) の中央にバーコードを表示し、(アクション) キーまたは、画面左下の <u>読み取り</u> をタップします。</p>

ケータイ Shoin の設定 (☎ 10-13 ページ)

変更後	<p>キーボードを出した状態でケータイ Shoin を使うとき、予測変換ウィンドウや連携候補ウィンドウを表示しないように設定できます。</p> <p>ケータイ Shoin 環境設定画面 (<u>予測</u> タブ) に「キーボードを出しているときは予測変換を無効にする」チェックボックス、ケータイ Shoin 環境設定画面 (<u>連携</u> タブ) に「キーボードを出しているときは連携変換を無効にする」チェックボックスがあります。</p> <p>このチェックボックスにチェックを付けると、キーボードを出した状態では予測変換ウィンドウや連携候補ウィンドウは表示されません。</p> <p>文字を入力後、下向きの <u>カーソル</u> キーまたは <u>スペース/変換</u> キーを押すと、文節候補ウィンドウが表示されます。</p> <p>※『取扱説明書』1-29 ~ 33 ページの説明は、予測変換ウィンドウや連携候補ウィンドウを表示している場合で説明しています。</p>
変更前	<p>「キーボードを出しているときは予測変換を無効にする」チェックボックスと「キーボードを出しているときは連携変換を無効にする」チェックボックスがありません。</p>

補 足 説 明

キーボードで文字入力のメニューなどを表示する

ケータイ Shoin をお使いの場合、キーボードの操作で機能メニューなどを表示して、記号や顔文字を入力したり、文節の長さを変えることができます。

あわせて、『取扱説明書』の「文字入力のしかた」(☞ 1-27 ~ 33 ページ) もお読みください。

文字を入力していないときや文字が確定しているとき

- ・ **Ctrl** + **M** キー 機能メニュー
- ・ **Ctrl** + **K** キー 記号リスト
- ・ **Ctrl** + **F** キー 顔文字リスト
- ・ **Ctrl** + **T** キー 定型文リスト
- ・ **Ctrl** + **Y** キー 区点入力

※区点コードは、付属の CD-ROM に収録の『アプリケーションマニュアル』の 141 ~ 144 ページをご覧ください。

文字入力中

- ・ **Ctrl** + **O** キー 単漢字変換

連文節変換中に文節の長さを変える

Loop Shift + **→** キーまたは **Loop Shift** + **←** キーで目的の文節に移動したあと、次の操作で文節の長さを変えます。

- ・ **Ctrl** + **←** キー 文節縮小
- ・ **Ctrl** + **→** キー 文節拡大